

政令市初 官民一体 腎臓病検診！！

北九州市慢性腎臓病予防連携システム

一般的に、慢性疾患患者の増加が、医療費高騰の主な原因と言われ、中でも慢性腎臓病は重症化すると高額な人工透析が必要になります。

北九州市国保の人工透析の件数は、平成 11 年度(18,332 件)から平成 19 年度(28,248 件)の 8 年間で約 1.5 倍に増加し、平成 20 年度における人工透析に要した本市国保の医療費は約 46 億 7 千万円、全体の約 5%をしめています。

北九州市は、慢性腎臓病の重症化予防と医療費の適正化を目的に、北九州市医師会と協力して「慢性腎臓病予防連携システム」を構築しました。かかりつけ医を核とし、特定健診から保健指導、専門医療までを一体的につなぐ「慢性腎臓病予防連携システム」は、政令市初の全国に先駆けた取り組みです。

**検尿異常は、再検査
再検査異常は、腎臓専門医へ**

**このシステムでの門司区の腎臓専門医は
門司港腎クリニックと掖済会門司病院です。**

北九州慢性腎臓病予防対策

北九州国民健康保険特定健診受診

検査結果異常

eGFR 60mL/min/1.73m²

尿蛋白 1 +、尿潜血 2 +

特定健診の検査結果を直接当院にお持ちになり受診できます

一次医療機関（かかりつけ医）

- ・ 検尿検査 2 回以上
- ・ 採血検査
- ・ 問診・診察

一次医療機関（腎臓専門医）

門司港腎クリニック

- ・ 検尿検査 2 回以上（早朝尿含む）
- ・ 採血検査（腎機能と腎臓悪化因子）
- ・ 問診・診察

* 蛋白尿が 0.5g/g クレアチニン以上もしくは 2+以上

* eGFR が 50mL/min/1.73 m²未満

（70 歳以上は eGFR40mL/min/1.73 m²未満）

* 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）

いずれかに該当 専門医紹介

* 蛋白尿が 0.5g/g クレアチニン以上もしくは 2+以上

* eGFR が 50mL/min/1.73 m²未満

（70 歳以上は eGFR40mL/min/1.73 m²未満）

* 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）

二次医療機関受診（腎臓専門医）

門司港腎クリニック

精密検査・継続治療

精密検査・継続治療
祝日・夜間外来あり

月～土曜	10:30～12:00	一般初診・再来
水曜	14:30～15:30	腎臓病初診（予約不要）
月・金曜	14:30～15:30	腎臓病再来（予約制）
第3金曜	17:00～20:00	慢性疾患再来（予約制） （腎臓病、高血圧、糖尿病、禁煙外来など）
祝日	10:30～12:00	腎臓病初診再来（予約制）

門司港腎クリニック 腎臓病外来紹介

月～土曜 10:30～12:00 一般初診・再来

水曜 14:30～15:30 腎臓病初診（予約不要）

月・金曜 14:30～15:30 腎臓病再来（予約制）

第3金曜 17:00～20:00 慢性疾患再来（予約制）

（腎臓病、高血圧、糖尿病、禁煙外来など）

祝日 10:30～12:00 腎臓病初診再来（予約制）

“地域の腎臓病患者減少をめざし診療時間を拡大”

1. 水曜の午後は、予約不要で、初診OK
2. 第3金曜日夜間は、電話予約で、初診および再来OK
3. 祝日午前は、電話予約で、初診および再来OK

ホームページ <http://www.mojiko-ji.com>

携帯サイト <http://www.mojiko-jin.com/mobile/>

検尿異常は再検査、再検査異常は腎臓専門医へ

慢性腎臓病対策へのご協力お願い

北九州市は、透析医療費の増大と、腎臓病患者が心臓病、脳血管障害を起こしやすいことを懸念し、北九州市医師会と協力して、“北九州市慢性腎臓病予防連携システム”を設立しました。全国にさきがけた慢性腎臓対策としてTVでも紹介されたそうです。

北九州市慢性腎臓病予防連携システムとは、検診で検尿異常を指摘された方にかかりつけ医受診を勧め、腎臓病が疑われる方には腎臓病専門医を紹介するシステムです。

もし、現状のまま腎臓病患者が増えると医療費が増え続け、結局は現在治療中の透析患者への医療費抑制や自己負担導入を招くかもしれません。ところが、検診を受ける人は少なく、検尿異常を放置する方が多いのが現状です。

このシステムにおける門司区の腎臓病専門医は、現在、門司港腎クリニックと掖済会門司病院です。当院は地域の医療に貢献するため、自院の透析患者さんの診療を守るために、慢性腎臓病外来受診時間を増やし、慢性腎臓病対策に努力しています。

皆様、どうか検診受診を勧め、自覚症状がなくとも検尿異常は受診するようにお勧めください。よろしくお願ひいたします。